



本音で語る！

内定者アンケート

2025年度入職予定の内定者(新卒)に対し、
無記名アンケートを実施！
就活に関する様々な質問に本音で答えてもらいました。

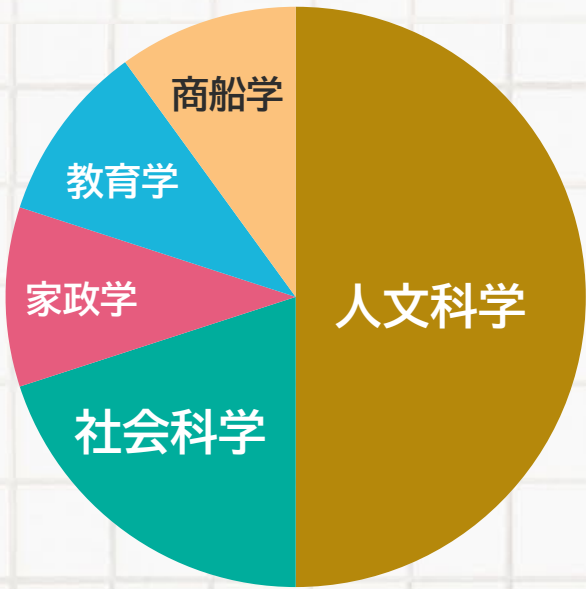


入職データ

入職年度	入職人数（新卒）
2025年度	13名（男性3名 女性10名） ※予定
2024年度	11名（男性3名 女性 8名）
2023年度	15名（男性5名 女性10名）

Q1

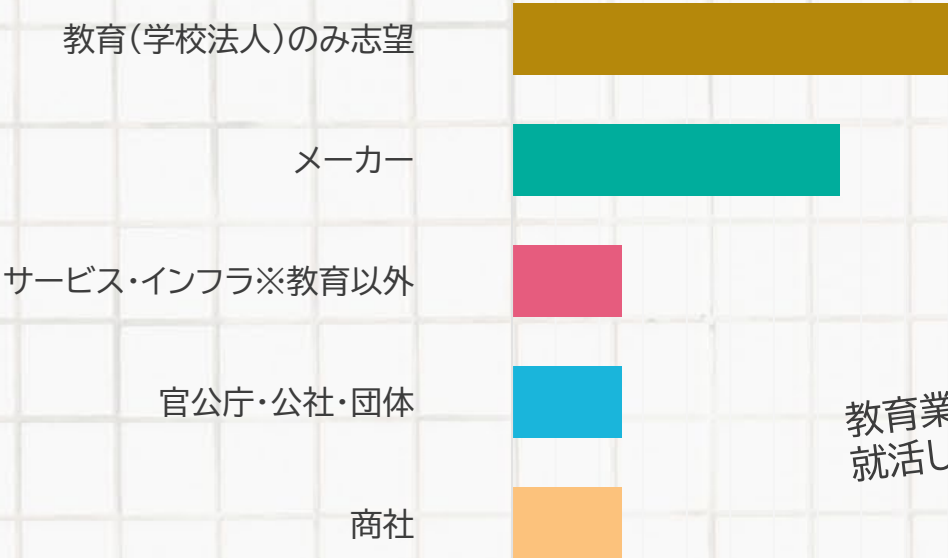
出身学部系統は何ですか？



人文科学が最多！
以外にも教育学は少数の結果に

Q2

教育(学校法人)の他に、どんな業界を志望していましたか？



教育業界に絞って
就活していた人が**最多**！

※広告・出版・マスコミ、金融、流通・小売、ソフトウェア通信は0票

Q3

大学職員を目指したきっかけは何ですか？

インターンや説明会への参加



「**大学職員の説明会**で魅力を感じた。」

「母校の**インターンへの参加**」

教育関係のボランティア活動



「高校と大学で**学生支援のボランティア活動**を行っていて、学生の支援にやりがいと魅力を感じ、より**多くの学生を支援**できるような仕事がしたいと思うようになったから。」

「子供支援ボランティアを通じて**学生を支える事にやりがいを感じた**から。」

大学でのアルバイト



「自身の**学校の広報アルバイト**をしていたのをきっかけに大学職員に興味を持ち始めました。」

「学内のアルバイトから**大学職員が研究者や学生、学校のリソースを繋ぐ重要な役割を担っていることを実感**しました。学校のリソースを学生や研究者に認識させ、活用できるようにすることに、大きなやりがいを感じます。」

学生生活で大学職員に支えられた経験



「派遣留学の際に**職員の方からの暖かいサポート**に支えられたため」

「通っている大学で、学内プロジェクトや就活の相談などで**キャリアセンターの職員の方にお世話になったこと**」

Q4

東京理科大学を志望した理由は何ですか？



世界も注目する実績を持つ大学であり、さらに世界で躍進していけるようなプロジェクトも行っていて、ここで働くことが出来たら自分も新たな刺激を受けながら**日々成長できそう**だと思ったから。また、自分は文系の学部にも所属しているので、自分の知らないことがたくさんありそうな**理系の大学で働いてみたいという興味**もあった。



実力主義によって**レベルの高い教育を提供出来ていること**に魅力を感じていました。そして**大学のブランド、今後の発展を含めるとバランスが良い**と感じたからです。



理系分野において、日本国内外で評価が高く、特に自然科学や工学、情報科学などの分野において先進的な研究が行われています。そのような環境に身を置き、**管理面から大学の発展に貢献することができれば、非常にやりがいを感じる**と思っています。自然科学の重要性がますます増す社会の中で、大学が**次世代の科学者や技術者を輩出し続けるためのサポート**ができることに意義を感じております。



日本から世界へと成長していきたいという**向上心と社会貢献度の高さ**、また、説明会のときの**職員の方の雰囲気**も後押しでした。

Q5

説明会・選考で感じた理科大職員の雰囲気はどうでしたか？

真面目でありながらも温かい雰囲気でした。

親しみやすい

いつも笑顔で
柔らかい雰囲気

穏やかで優しい方が
多いイメージ

明るく、親切

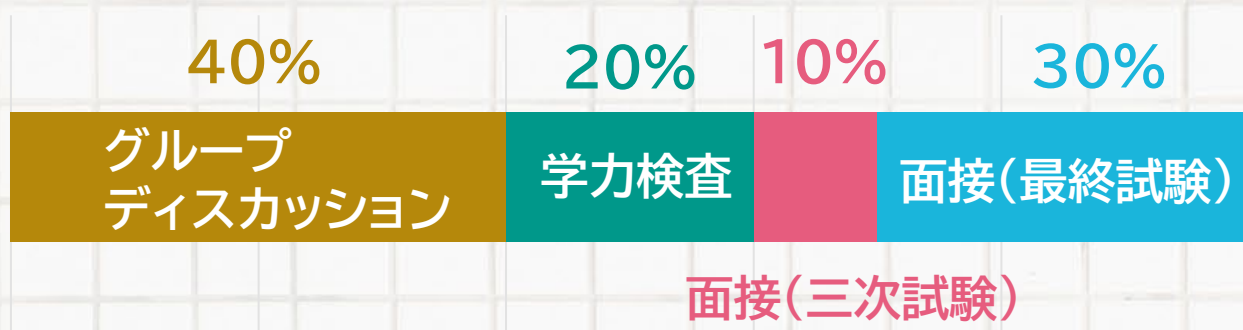
優しくにこやかに
接して下さった

面接官の方々がでしっかりと
自分の話を聞いてくださっていると
感じました。



Q6

理科大の採用選考の内容で最も印象に残っているものはどれですか？



グループディスカッションと面接に多く票が集まりました！
実際に**職員と関わりのあった選考内容**が印象に残っているようです！

Q7

Q6で選択した選考について、印象に残っている理由を教えてください。

グループディスカッション



自分はあまり優れたアイデアを出せていないなと途中で感じ、その分みんなの話を聴くことやまとめることなど違った方面に尽力してみようと切り替えた。その後、実際に選考を通過出来たと知って、**あの時諦めないで良かったと強く思った**記憶があるため。



他参加者の方々もとても暖かい雰囲気で、経験した**どのグループディスカッションよりも協力しあって議論を進められた**と感じたためです。



他の就活生の方もそうであると思いますが、**ディスカッションテーマが、私自身の大きな学びに繋がりました**。また、面接の場では、あまり他の就活生と関わる機会がないため、刺激を感じられました。

学力検査



いわゆる一般のWebテストとは異なり、**対策の仕方に戸惑った**ため。

面接(三次・最終)



面接官の優しい人柄を感じたからです。
返答が難しい質問があり、あとから振り返るとずれた回答をしてしまったのですが、面接官の方が笑顔で話を聞いて下さり、**理科大職員の人の良さを実感しました**。



最終面接では、能力だけでなく私の趣味についても深く質問していただきました。その瞬間、私が一つの労働力としてではなく、**一人の人間として評価されている**と感じ、とても印象に残りました。



面接官の人数が思っていたよりも多くて少し驚いたのですが、全く威圧感がなく**緊張感がありつつも和やかな雰囲気だった**ので、印象に残っています。

Q8

選考の中で、一番アピールしたポイントは何ですか？

性格・
人柄

適応
能力

主体性

チャレンジ
精神

目標達成
への熱意

明確な
キャリア
プラン

機転が
利くこと

培った経験と
活かし方

継続力・
マネジメント力・
忍耐力



Q9

理科大への入職の決め手は何ですか？



働く職員の雰囲気



ライフイベントを経ても、
長期的に長く働けると思った



理科大でできることと
自分のやりたいことが一致したため



大学の将来性



ワークライフバランス



理科大の全体的な雰囲気が
自分に合っていると思った

Q10

就活生に向けてエールをお願いします！



就活において、自分の思いを相手に伝えることの大切さと難しさを痛感したので、面接の練習は多いに越したことはないと思います。



その大学の長期ビジョンや中長期計画を調べて、読み込むこと。その大学でやりたい事や自分がその大学に貢献できることを明確にして面接に臨むといいと思います！無理せずに自分のペースで、頑張ってください！



これまで経験してきた事を自分の言葉で自信を持って話して下さい！



何度か書類選考や面接で落ちるととても自信を無くすと思いますが、最後まで自分が出来ることをし続けて諦めなければきっと評価してくれる人や場所とめぐり合えると思います。そのためにも、就職支援関係のイベントに積極的に参加したり模擬面接を何度も行って経験を積んで就活自体に馴れることが大切だと思います。頑張ってください！



就活を終えていく友達を見て焦ってしまったり、まだ内定をもっていないということに悔しい思いをするかもしれません。(実際そうでした)諦めずに頑張ったことが自信に繋がります。周りの人と比べず、自分が納得出来るかを大切にしてください！



沢山悩んで辛いと感じることも沢山あると思いますが、悩む過程がとても大切だったと今になって感じています。たくさんの選択肢があると思いますが、それぞれとしっかり向き合い、存分に悩んで考えて、自分が働く未来を明確に想像しながら就活するのが良いと思います！



職場選びは理論やデータだけでなく、自分の直感や感覚も大切にしてほしいです！



複数の業界を検討されている就活生の方も、多くいらっしゃると思いますが、大学職員は、選考の時期が他業界と比較して遅く、先に進路決定をした友人等と比較し、焦ることもあるかと思います。就職活動を通じて、就活スタイルは、個人によって様々であると実感しました。なので、自分らしい方法を見つけることで、就活期間と向き合えると良いかと思います。納得のいく選択になるよう、頑張ってください！！



私自身、就活を始めるのが遅かったこともあり、不安な気持ちに襲われながらも友人や学校の職員の方などたくさんの人に頼りながら就活を乗り越えました。就活のやり方に正解は無いと思いますし、自分が納得できる結果になることが一番だと思います。一人で抱え込まずに、ESの添削や面接練習、相談など、周りの力をたくさん借りて頑張ってください！

